

文部科学省共同利用・共同研究拠点
玉川大学脳科学研究所「社会神経科学研究拠点」
2022年度 共同研究公募要領

1. 公募する研究課題

研究代表者が企画した研究課題について、本学脳科学研究所「社会神経科学研究拠点」担当の専任教員が1名以上参加する研究。

共同研究支援の内容としては、以下の4テーマとします。

- ①「社会性の脳機能・構造計測・解析支援」は、主にMRIによる社会性関連神経回路抽出とシステム理解を目指した研究*
- ②「社会性の行動実験支援」は、社会行動、発達、コミュニケーションの観点から社会性の個人差と環境適応の理解を目指した研究
- ③「社会知性の創出支援」は、ロボット、人工知能、シミュレーションなどを通じて社会知性を創出することから人間を理解する研究
- ④「社会性の客観指標に基づく数理モデル化支援」は、上記①～③のテーマと連携し神経指標、数理モデル、行動指標を用いて特徴抽出、原理抽出することで社会性の数理解理解を目指す研究
- ⑤「社会性神経回路機能研究支援」は、主に動物を対象とした生理実験による社会性に関連する神経回路研究

とします。

*10歳以上を研究参加者（被験者）とするMRI研究となります。

共同研究支援の方法としては、

(1) 単一領域研究支援、(2) 複合領域研究支援とします。

単一領域研究支援は、上記の1つの研究支援内容についての共同研究の支援

複合領域研究支援は、上記の2つ以上の研究支援内容についての共同研究の支援

とします。

*尚、研究内容④については複合領域研究支援のみとなります。

2. 申請資格

研究代表者は原則として、大学、研究機関等に所属する研究者（大学院生は除く）又は所長がこれと同等の研究能力を有すると認める者

3. 研究組織

(1) 研究組織は、研究代表者と研究分担者とで構成されます。

(2) 脳科学研究所社会神経科学研究拠点担当専任教員1名を学内対応専任教員とし

ます。

- (3) 希望する①～⑤の支援内容を担当する社会神経科学研究拠点担当専任教員を支援内容毎に1名以上研究分担者に含めることが望ましい。

各支援担当教員は以下になります。

- ①「社会性の脳機能・構造計測・解析支援」
松元健二教授、松田哲也教授
- ②「社会性の行動実験支援」
高岸治人准教授、坂上雅道教授、岩田恵子教授、梶川祥世教授、佐治量哉准教授
- ③「社会知性の創出支援」
岡田浩之教授
- ④「社会性の客観指標に基づく数理モデル化支援」
酒井裕教授、鮫島和行教授
- ⑤「社会性神経回路機能研究支援」
坂上雅道教授、鮫島和行教授、田中康裕准教授、武井智宏准教授

各教員の専門研究領域については、ホームページで確認ください。

<http://www.tamagawa.jp/graduate/brain/staff/>

また、「社会神経科学研究拠点（玉川大学脳科学研究所）」は、令和3年度より文部科学省共同利用・共同研究拠点「赤ちゃん学研究拠点（同志社大学赤ちゃん学研究センター）」「発達障害研究拠点（昭和大学発達障害医療研究所）」「大学共同利用機関（生理学研究所）」と連携協力協定書を締結し、ヒューマニエンス研究領域拠点連携を行っております。これにより、「社会性の発達研究支援（胎児を含む乳幼児の認知・発達計測）」「社会性疾患研究支援（社会性に障害のある疾患を対象とした研究）」「対人型研究支援（MRIのハイパースキャン）」が拡張されました。ただし、これらの研究支援については、上記①～⑤の研究と同時に行う、または①～⑤の研究で行った研究を進展させる研究の場合にのみ、対象となります。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

4. 研究期間

2022年4月1日～2023年3月31日

5. 研究費・旅費

上限10万円／年

社会性の学際領域研究もしくは、異分野の研究者による共同研究で、かつ他の研究費で手当されていない研究のみを対象として、一部研究費（被験者謝金、共同研究実施に

かかる旅費交通費)の支援を行います。研究費は、審査の上決定します。申請額から減額して採択する場合があります。

*研究費は、本学の研究費執行基準に基づいて執行していただきます。

6. 申請方法

申請者は、申請書1通を所属機関長を通じて提出してください。

なお、申請を希望される方は、申請書を提出される前に必ず共同研究を希望する学内対応教員と研究課題、研究計画、必要経費等について打ち合わせを行ってください。

学内対応教員が見つからない等、お困りのことがありましたら脳科学研究所共同利用・共同研究支援室までご相談ください。

<相談窓口>

脳科学研究所共同利用・共同研究拠点支援室

TEL:042-739-8265 (9:00-17:00)

E-mail: bsi_collabo@tamagawa.ac.jp

封筒には「共同利用・共同研究申請書在中」と朱書きしてください。

メールでも申請書を送信ください。

(1) 提出書類 「玉川大学脳科学研究所共同利用・共同研究申請書」

*様式はホームページよりダウンロードしてください。

(2) 郵送先 〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

玉川大学脳科学研究所 共同利用・共同研究支援室

E-mail: bsi_collabo@tamagawa.ac.jp

7. 申請期限

令和4年5月2日(月)必着

申請期限に間に合わなかった場合は、随時申込を受け付けますので、研究開始予定の2ヶ月前までに申込を行ってください。

なお、随時申込の場合には、研究費支援の申込みを行うことはできません。

また、審査の日程により、研究開始予定日までに採否が決定できないことがありますことをご承知おき願います。

8. 社会神経科学研究拠点共同研究課題審査委員会にて審査し、運営委員会の議を経て、拠点長が決定します。

審査結果は、令和4年5月下旬、所属長ならびに研究代表者へ通知いたします。

9. 研究成果

- (1) データベースの充実・発信・論文の執筆、ホームページやシンポジウム等における積極的な研究成果発信を求めます。
- (2) 研究期間終了後 30 日以内に、研究代表者から拠点長へ研究成果報告書を提出していただきます。なお、研究成果報告書は玉川大学脳科学研究所のホームページ、紀要等で公開いたします。
- (3) 本研究の成果物（データベースを含む）に係る著作権は、著作者・製作者・創作者に帰属します。
- (4) 採択課題については、シンポジウム等で共同研究課題の概要、研究成果報告等の説明を行って頂く場合があります。
- (5) 研究成果物の取り扱いについては、本学規程に基づきます。
- (6) 本共同研究の成果を学術論文として発表される場合には、謝辞として「玉川大学脳科学研究所共同利用・共同研究拠点事業「社会神経科学研究拠点」」を明記して下さい。

英文では、以下の文例を参考にして下さい。

This research was supported by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) as part of Joint Research Program implemented at Tamagawa University Brain Science Institute, in Japan.

10. その他留意点

- (1) 研究代表者は、玉川大学脳科学研究所の共同スタッフとして受け入れを行います。本学の諸規則に従い、脳科学研究所の施設および研究資源を利用することができます。
- (2) 研究代表者は、原則として、所属研究機関の了解を得たうえで申請を行ってください。また、研究分担者には、研究代表者があらかじめ参加の内諾を得てください。
- (3) 大学院生及び学部学生については、保険に加入していることが条件となります。
(財団法人日本国際教育支援協会の学生教育研究 災害傷害保険(付帯賠償責任保険を含む)等、又はこれと同等以上の保険に加入していることをご確認ください)
- (4) 本申請に採択後、研究代表者ならびに研究分担者の所属機関の倫理委員会の承認書の提出が必要になります。尚、所属機関に倫理委員会が設置されていない場合は、所属長の研究承諾書で代用することができます。

11. 問い合わせ先

玉川大学脳科学研究所共同利用・共同研究拠点支援室

担当：細谷

TEL:042-739-8265 (9:00-17:00) E-mail: bsi_collabo@tamagawa.ac.jp